

「Y150」を参考に、  
「T100」を盛り上げていこう！



まちづくり委員会 平山毅

「Y150」とは・・・？



横浜開港150周年 2009年  
市政120周年



所沢航空発祥100周年 2011年



「T100」も盛り上げよう！

**2009年**(平成21年)に横浜は、1859年(安政6年)に横浜が開港してから150周年の年を迎える



**2005年**(平成17年)1月

開港150周年～市政120周年～基本ビジョン



**2007年**(平成19年)9月

横浜地域SNS「ハマっち！」(インターネット上の交流サイト)の一般公開記念シンポジウムがあった



出典: 「開港150周年～市  
政120周年～基本ビジョン」

チャンスあふれるまち  
横浜

〈市民参加〉が大きな  
柱とされた。

横浜開港  
150周年  
2009年  
(平成21年)

### 民が主役となって推進

- 港と先人の業績への感謝及び賞賛
- 市民であることの一掃感の醸成
- 夢や希望にあふれるまちへの礎をつくり、その魅力を発信しながら再発展を図る
- 「横浜らしさ・ならでは」へのこだわりと創造
- 大きな盛り上がり創出とプロモーション活動強化による集客力向上

現在  
2005年  
(平成17年)

### 横浜の山積する課題

- 少子・高齢化の進展
- 産業構造の急速な変化
- 都市間競争の激化等

### 横浜スピリッツの復活 (横浜ならではのフロンティアスピリッツ)

開港のまち横浜は、  
先人の英知に学び、未来を切り拓く

### 個性発揮都市の創造

文化・産業・技術・景観のほか、  
来訪者へのホスピタリティや新  
しいイベント創出の仕組みなど  
オリジナリティあふれるまち

開港  
1859年  
(安政6年)

### 横浜開港によって 多くの人々が夢と希望をもって集う

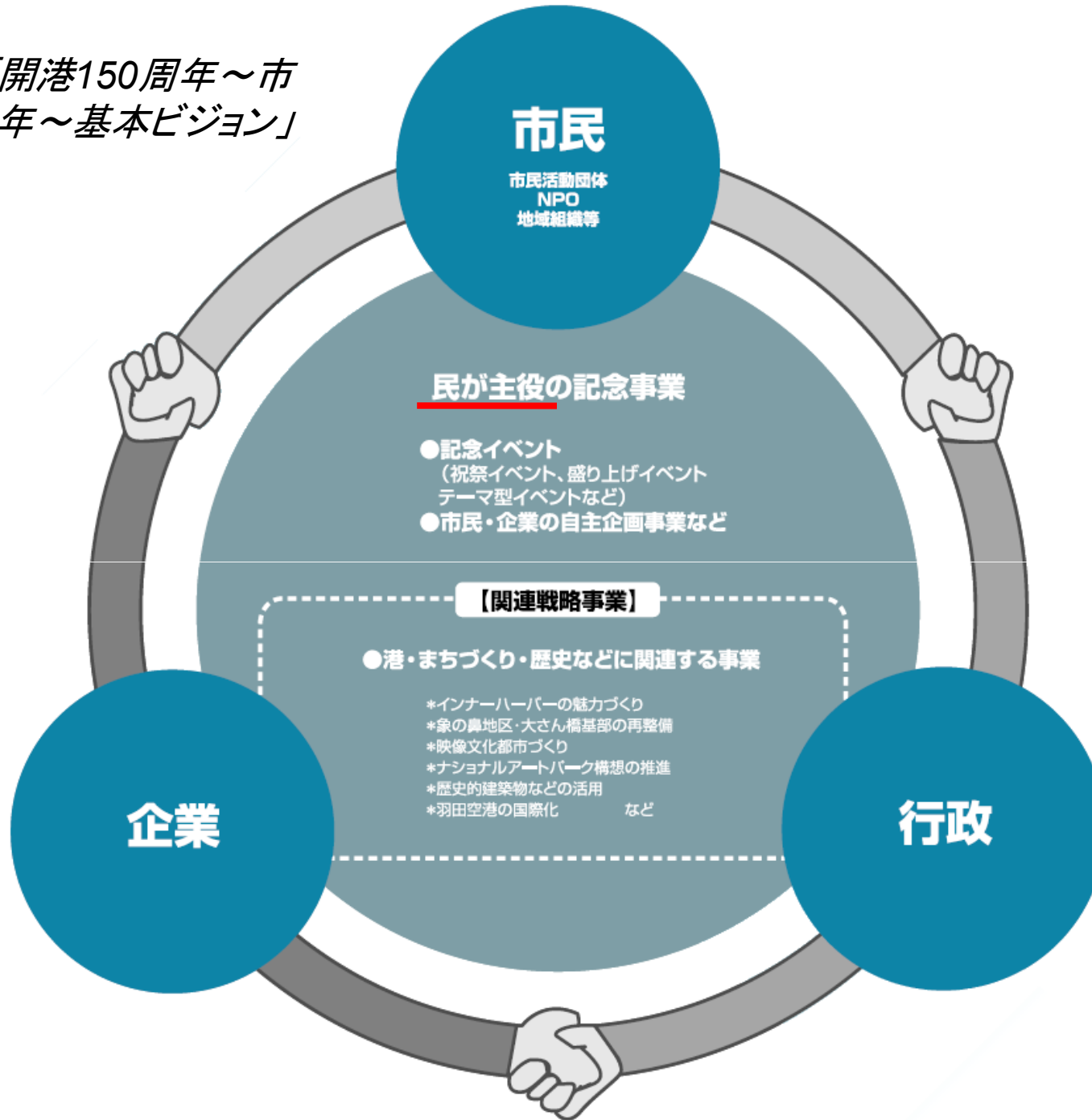
- 人的・物的交流が盛んなまち  
(ヒト・モノ・カネ・知識・技術・文化そして情報が集まるまち)
- 日本近代化の窓口
- 横浜もののはじめ(鉄道、新聞、ホテル、パン、アイスクリーム等)

### 横浜ならではの フロンティアスピリッツの誕生

- 進取性、開放性が高く、  
因習にとらわれない気風
- 新しいもの、困難なものへ挑戦する気質

横浜港を核に「横浜らしさ・ならでは」の誕生

出典: 「開港150周年～市  
政120周年～基本ビジョン」





Y150市民参加プラットホーム推進委員会



Y150市民参加プラットホーム

(財)横浜開港150周年協会



崎陽軒



企業を育て地域を伸ばす  
横浜商工会議所



社団法人 JCI  
横浜青年会議所



150th Anniversary of the Port Opening & Creative City Headquarters  
開港150周年・創造都市事業本部  
2009年みんなの力で  
新たな横浜が動き出します。

# (財)横浜開港150周年協会



(旧:横浜開港150周年推進協議会)

**会長:横浜商工会議所会頭**

名誉会長:神奈川県知事・横浜市長

副会長:横浜港運協会会長・横浜市副市長

役員:経済団体代表など合計25名

評議会:財務省、国土交通省、神奈川県など  
合計27名

財団法人横浜開港150周年協会は、横浜港が2009年6月2日に開港150周年を迎えることを記念して、各種記念事業を行うことを目的とした神奈川県を主務(監督)官庁とする財団法人である。

2007年4月現在の基本財産は3200万円(出捐金の内訳は横浜市1000万円、神奈川県200万円、横浜商工会議所等の公益団体2000万円)会長は上野孝横浜商工会議所会頭、副会長は藤木幸夫横浜港運協会会長。

記念事業プロデューサーには宮本亜門、日比野克彦、小川巧記が就任している。

出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

マスコットキャラクター  
たねまる



伊藤忠商事がライセン  
ス(マスコットキャラク  
ターおよびロゴマー  
ク等)を管理

横浜開港150周年記念式典  
宮本亜門作・演出オリジナルショー

市民出演者を募集した結果、**総勢1,478人**  
にも上る多数の応募をいただきました。  
**たくさんのご応募ありがとうございました。**

<b>応募 状況</b>	A 合唱部門 (募集200人程度) ▶ <b>応募者数 792人</b>
	B 演技部門 (募集300人程度) ▶ <b>応募者数 686人</b>

応募書類および映像資料による1次審査を通過した方は、  
オーディションにご参加いただけます

「ヒルサイド・Y150つながりの森」市民劇団募集 乱から始める劇団メンバーのための応援紙

# 創発カワラバン



ヒルサイド・Y150つながりの森は2009年7月4日(土)～9月27日(日)開催!  
会場:横浜開港150周年記念会館(ズーラシア開港地区) 主催:「創発カワラバン」150周年委員会

vol. 11

©Y150  
たねまる



## 語り合い、交流を楽しんだ「ヒルサイド・Y150つながりの森」イベント

7月5日、6日の2日間、センター南駅前  
のすまっぴ広場で「参加・体験はじめの  
一歩、ヒルサイド・Y150つながりの森プ  
レイント」が開催されました。来年7月  
にオープニングを迎える「Y150つなが  
りの森」の魅力を市民にPRするとともに、  
プロジェクトメンバーの仲間を広げるた  
めに企画されたものです。

会場には、創発メンバーのメッセージ  
を入れたTシャツが贈られ、竹の素材を  
つかったドームやトンネルなどのオブジ  
ェクがメンバーによって設置されました。  
自由演劇会のファンファーレで幕をあけ  
たステージでは、楽科演奏や踊りのパ  
フォーマンスが会場を盛り上げ、笛パ  
チづくりや竹とんぼづくり、ボブアリの香  
袋づくり、オリジナルすくすくづくりなど  
創発メンバーによる体験コーナーが観  
客連れでにぎわいました。

「面白そうなことをしているからと言  
う理由で引っ張られてきました。面白い物で  
運りかかったのですがこっちがメインに  
なっていました」と話してくれたのは  
ズーラシアの近くに住んでいるという金  
森さんです。「来年Y150のイベントがあ  
るのはいままで知らなかったけれど、楽  
しそうですね」と小学2年生の組さんと  
竹とんぼづくりを興味していました。「マ  
ジソンがてら遊びに来ました」と親子4人  
で参加した杉江さんご夫婦は、子どもた  
ちの笛パチづくりを見守りながら、創  
発メンバーからプロジェクトの魅力を受  
けていました。「いろんな方とつなが  
りができて交流できるのがいいですね。  
面白そうという感覚を持ちました」と受け  
取った資料を熱心に見ていました。

会場にもめぐるできたイベントは、  
創発メンバーと来場者が語り合い、交  
流し、楽しんだ2日間となりました。

## 2009年、50年に一度の機会を享受しよう。横浜開港150周年記念式典「イベント」 創発・総勢1500 Y150つながりの森は対話・参加・体験のゾーン

創発メンバーは、多岐にわたる市民参加型イベントを開催し、市民と創発メンバーとの対話を促進し、市民の参加を促す。また、市民の参加を促すための様々な取り組みを実施し、市民の参加を促す。

### ヒルサイド・Y150つながりの森



ヒルサイド・Y150つながりの森は、2009年7月4日(土)～9月27日(日)開催です。会場は、ズーラシア開港地区にある横浜開港150周年記念会館です。詳しくは、Y150つながりの森のウェブサイトをご覧ください。

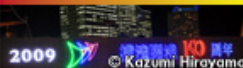


出会いたかった・やさしいヨコハマ



Road to Yokohama 150 Years

横浜・開港キャンドルカフェ150



～横浜は2009年に開港150周年を迎えます～



概要 | キャンドルカフェ2008 | 協力・後援 | アクセス・マップ | ボランティア募集 | お問い合わせ



## ヨコハマを彩る キャンドルファンタジー

2008 12.20(土) ▶ 23(火・祝)

●横浜・開港150周年記念カウントダウン・イベント



### トピックス

#### ◆事務局スタッフ緊急募集!!

- ◆HPIは製作準備中です。詳細が決定し次第、順次ご案内いたします。
- ◆2008年12月20日(土)～23日(火・祝日)開催決定!
- ◆2007年度はたくさんの方にご参加いただきまして、ありがとうございました。
- ◆一緒にイベントを盛り上げていただくボランティアさんの募集の受付を開始しました!
- ◆開催中の情報(決行・中止)は携帯サイトで確認できます。(開催中のみ)
- ◆報道関係の方へ

▶キャンドルカフェとは?

▶イベント内容

▶開催場所、開催時間はこちら!

▶願い事を描いて大切な人と一緒に灯りを灯してみませんか?

▶キャンドルカフェ2006・2007の様子

▶携帯サイトへのアクセス方法



| [HOME](#) | [概要](#) | [キャンドルカフェ2008](#) | [協力・後援](#) | [アクセス・マップ](#) | [ボランティア募集](#) | [お問い合わせ](#) |

### 主催

#### 「横浜・開港キャンドルカフェ150」実行委員会

〒231-0026 横浜市中区寿町2-5-1川本工業ビル7階(MAP) TEL.045-227-7390 FAX.045-663-3493

#### 財団法人 横浜開港150周年協会

〒231-0001 横浜市中区新港1-6-3 TEL.045-222-1544 FAX.045-662-1500

当ホームページ掲載の情報・画像の無断転用・無断掲載を固くお断りいたします。  
Copyright©2007 「横浜・開港キャンドルカフェ150」実行委員会 All Rights Reserved.



# Y150市民参加プラットフォーム推進委員会

(財)横浜開港150周年協会内にある組織



小説家・山崎洋子さんが委員長



Y150市民参加  
プラットフォーム



野老澤(ところさわ)町造商店(まちづくりしょうてん)の『横浜開港150周年』版



横浜開港150周年記念テーマイベント  
「開国・開港Y150」市民参加プレイイベント

# 「ハマ波150」

## ハマっ子イベント大賞

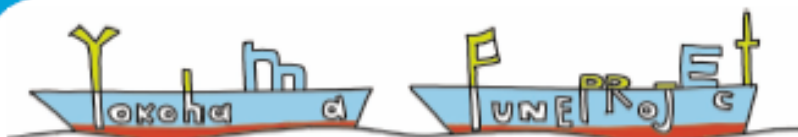
会場

横浜赤レンガ倉庫1号館

時間

11:00~20:00

※最終日は17:00迄



**横浜FUNE** プロジェクト  
日比野克彦プロデューサーアートプロジェクト  
 2007 → → → 2009  
http://www.yokohama150.org

横浜開港150周年記念 **500** 日前  
**カウントダウンイベント**  
**参加者募集**

2009年の横浜開港150周年に向けて、記念テーマイベントのアートプロデューサー日比野克彦氏の監修により、横浜(港)の歴史を彩ってきた実際の船や記憶に残る船をモチーフにダンボールなどの素材を使って「FUNE(船)」を創りながら、親子や子ども同士から一般参加の方々まで、幅広い年齢層の交流を図ります。

- 日 時：平成20年1月19日(土)～20日(日)1泊2日 (集合：午前10時 解散：午後5時)
- 対 象：親子または、個人(小学生以上～大人) 定員40名(研修施設)
- 会 場：横浜市野島青少年研修センター
- 参加費：大人(高校生以上)1,000円 小・中学生500円
- 申 込：12月26日(火)までに、行事名(FUNEプロ)、参加者全員の氏名・年齢(学年)・性別・住所・電話番号を記入して、ハガキ・FAX・E-mail・直接来所により下記問合せ先まで
- 問合せ：横浜市野島青少年研修センター「FUNEプロジェクト係」 (〒236-0025 横浜市金沢区野島町24-2野島公園内)  
 TEL:045-782-0169 FAX:045-701-9599 E-mail:nojima@yokohama-youth.jp
- 主催：財団法人横浜市青少年育成協会・横浜市野島青少年研修センター
- 後援：横浜市金沢区役所、横浜市開港150周年・創造都市事業本部
- 協賛：レンゴー株式会社



**\* ワークショップ当日は横浜開港150周年記念テーマイベントアートプロデューサー日比野克彦!!!参加予定!!!**



横浜開港150周年記念テーマイベント

# ヒルサイド・Y150つながりの森

2009.7.4～2009.9.27開催



▶ ホーム

▶ 創発ニュース

▶ ヒルサイドとは?

▶ 募集のお知らせ

▶ イベントのお知らせ

▶ よくある質問

「竹の海原」  
製作プロジェクト  
竹の伐採に参加しよう! [詳細](#)

創発プログラム  
資料はこちら >>

創発メンバー  
フォーラムはこちら >>



「150年」、ここから始める。

「集まれ!」  
市民創発プログラム展開中

横浜開港150周年記念テーマイベント

## 「開国・開港Y150」



2009年、50年に一度の機会を参加体験しよう。  
「海」「街」「自然」が生きる横浜の3つのエリアで  
開国・開港150周年を祝うイベントを盛大に開催。



**参加・体験はじめての一步。**

**Y150つながりの森プレイイベント開催!!**

**入場無料** 日時:2008年7月5日(土)6日(日) 会場:すきっぷ広場

5/13:00~13:30

6/13:00~17:00

〒220-0001 横浜/センター島 新港口PC

ヒルサイド・Y150つながりの森は対話・参加・体験のゾーン

ヒルサイド・Y150つながりの森は2009年7月4日(土)~9月27日(日)開催!

<http://hill.yokohama150.jp>



## 2008年10月～ 「竹の海原」製作プロジェクト始動!!

お知らせ!!

あなたも竹切りに参加しませんか?2008年10月～12月横浜市内の公園で  
ヒルサイド・Y150の会場シンボルとなる「竹の海原」で使用する竹を伐採します。  
あなたが切った竹が「竹の海原」に使われます!

■参加人数は1回所定より先着50～100名程度(伐採場所によって参加人数が異なります)  
■伐採経験が無い方でも参加できます(伐採指導あり)  
■伐採のご褒美は運具は無しです  
■親子で参加できます(伐採場所によっては女士童管理上、お子様は竹工作教室のみの参加となる場合があります)  
■竹の切り出しのほか、竹工作教室なども開催

10月

・金沢自然公園  
・こどもの国

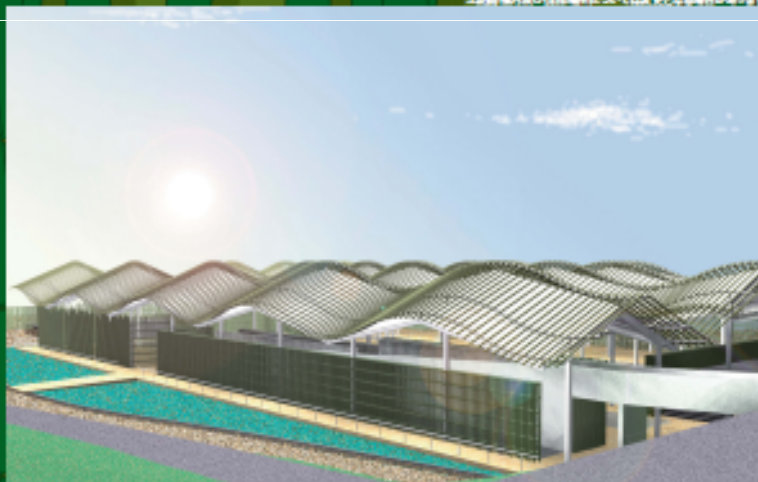
11月

・大塚・東勝土運動公園  
・北八洲公園  
・こどもの国  
・本郷ふじやま公園

12月

・上山ふれあいの緑林  
・港南台中央公園  
・こどもの国  
・せせらぎ公園

上記開催内容及び伐採場所については変更となる場合があります。



竹の海原・東横方面のイベントの目録と情報提供のヒルサイドY150横浜市内の会場ホームページ  
http://hillyokohama150.jp

<http://hillyokohama150.jp>

# 横浜開港150周年の経済効果は 548億円

— 浜銀総研

試算結果によると、同イベントの開催にともなって横浜市内で発生する需要額は総額476億円、それによって横浜市内にもたらされる経済波及効果は548億円（うち、来場者消費の効果が405億円、制作運営費支出や施設制作費支出の効果が143億円）にのぼると見込まれます。また、そのような経済波及効果の結果、横浜市内で産み出される付加価値額は325億円となり、横浜市の名目市内総生産（12兆9,387億円、2006年度）の0.3%に相当する規模になります。

図表1 経済波及効果の試算結果

	(億円)			
	来場者消費	制作運営費	施設制作費	合計
需要発生額	319	119	38	476
生産誘発額	405	99	43	548
(誘発倍率、倍)	(1.27)	(0.83)	(1.15)	(1.15)
第1次波及効果	346	84	36	466
直接効果	261	68	29	358
第1次間接効果	85	15	7	107
第2次波及効果	59	16	7	82
付加価値誘発額	237	65	24	325
雇用量誘発額	121	32	14	167

(注) 端数処理の関係で、内訳で示された金額の合計が表示された合計金額に一致しない場合がある。

((財)横浜開港150周年協会資料などをもとに浜銀総研が試算)

# 横浜

# 所沢

4年前

「横浜開港150周年～市政120周年～基本ビジョン」(2005年1月素案作成)

↓  
市民からの意見吸収

3年前

「横浜開港150周年～市政120周年～基本計画」(2006年6月発表)

2年前

「横浜開港150周年協会」発足(2007年3月)

 **Hamatch!** SNS 一般公開  
150th ANNIVERSARY OPENING PORT OF YOKOHAMA

1年前



イマココ

5月に記者発表会(横浜市出身の米倉涼子さんも登場)

記念年

2009年6月2日  
(開港記念日)  
横浜開港150周年

イマココ

2009年

2010年  
市制60周年

2011年4月1日  
(飛行場開設記念日)  
所沢航空発祥100周年